

| | |
|-----------------------------|--|
| 行事名称 | 第96回技術者倫理研究会例会 |
| 開催日時 | 2021年11月9日（火曜日）18:30～20:30 |
| 開催場所 | （TeamsによるWEB講演） |
| 主催 | 公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 engineeringethics-studygroup |
| 参加者 | 全国で94名参加（うち北陸本部参加者8名） |
| 演題 | 技術者倫理の教育設計～インストラクショナルデザインとケースメソッド |
| 講師 | 保田 耕三氏 技術士（経営工学、総合技術監理） |
| 講演資料 | あり |
| 内容 | <p>日本技術士会経営管理チーム所属、千葉県支部幹事、企画委員、技術者教育支援委員の方で、1993年三井石油化学(現三井化学)入社後、国内化学工場の生産技術支援、海外での化学プラント建設プロジェクト、本社での技術戦略管理などを経験。現在は海外関係会社の工場に対する技術支援・指導を主業務とする傍ら、中小企業支援や補助金審査、記事執筆、大学非常勤講師、英文添削等、幅広い活動をされている。そのご経験をもとに詳しくご講演いただいた。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 2. インストラクショナル・デザイン(ID)について <ul style="list-style-type: none"> ・教育設計の手順として～ADDIEモデルについて、他 3. ご自身の某国立大学工学部(化学)での技術者倫理教育に関する講義資料からIDの応用について詳しく解説 <ul style="list-style-type: none"> ・ケースメソッドについて |
| 所感 | <p>特に最後に学生に対する、ケースメソッドの進め方として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題状況の理解・分析 ・自説の構築 ・意見交換と言語化 ・意見の更新・修正 ・授業での成長 <p>といった内容を保田氏が、講師としてどのように指導しているか「チャレンジャー事故」の事例紹介と合わせてお話いただき、非常に参考になりました。</p> |
| 記入者：2021. 11. 16 倫理委員会 阿部治彦 | |